

高血圧患者への葉酸治療により初発脳卒中が2割減少

初発脳卒中の予防における葉酸治療の有効性についてはデータが少なく、結果も一貫しておらず、不明な点が多い。本研究ではACE阻害薬エナラプリル単剤よりも、葉酸を併用したほうが初発脳卒中をより効果的に抑制できるかを検証した。

中国の32町村において、脳卒中および心筋梗塞の既往のない高血圧患者20,702例を対象に二重盲検ランダム化比較試験を実施した。被験者をエナラプリル10mgと葉酸0.8mgの合剤を1日1錠投与する群（葉酸併用群10,348例）とエナラプリル10mg錠のみを投与する群（対照群；10,354例）にランダムに割り付けた。また、葉酸濃度に影響を与える可能性のある遺伝子型（MTHFR C677T多型；CC、CT、TT遺伝子型）を試験開始時に確認し、層別化を行った。中央値4.5年の追跡期間中に、エナラプリル単剤群と比べ、葉酸併用群で有意に初発脳卒中リスクが減少した（対照群3.4%、葉酸併用群2.7%；ハザード比0.79）。脳卒中の種類別解析では、葉酸併用群では対照群に比べ虚血性脳卒中リスクは低下した（2.2% 対 2.8%；ハザード比0.76）が、出血性脳卒中リスクは両群間で差がなかった（ハザード比0.93）。また、葉酸併用群では対照群と比べ、複合心臓血管イベントリスク（心臓血管死+心筋梗塞+脳卒中）も低下したが（3.1% 対 3.9%；ハザード比0.80）が心筋梗塞（ハザード比1.04）、全死亡（同：0.94）、有害事象の発生率については両群間に差はなかった。

したがって、脳卒中と心筋梗塞の既往のない高血圧患者に対し、ACE阻害薬エナラプリルと葉酸の併用はエナラプリル単剤と比べ、初発脳卒中を有意に低下させることが示された。

出典：Journal of American Medical Association. Published online Mar 15, 2015;

doi: 10.1001/jama.2015.2274